

# 加古川市が令和5年度「SDGs未来都市」 に選定されます。


主催	国（内閣府）
日時	「SDGs未来都市」選定証授与式 5月22日（月）15:00～15:30
場所	中央合同庁舎8号館 講堂（1F） 東京都千代田区永田町1-6-1
内容	<p>国（内閣府）から令和5年度「SDGs未来都市」の選定結果が公表され、5月22日（月）に加古川市を含む28都市がSDGs未来都市に選定されることとなりました。</p> <p>この制度は、平成30年度から開始されており、今回選定された都市を加えると全国で182都市がSDGs未来都市となります。兵庫県ではすでに5都市（明石市、姫路市、西脇市、加西市、多可町）が選定されており、この度、加古川市とともに兵庫県、三木市、三田市が選定され、9都市となりました。</p> <p>【加古川市の提案内容】 「水辺×駅周辺」が人をつなぐ 職・住・憩まるごと創造プロジェクト」と題し、加古川駅周辺から加古川河川敷までのエリアを活用し、子育て世代をはじめとする全ての人が集まり、自然を身近に感じながら、自分らしく過ごすことができる都市空間を形成する。さらに、エリアの回遊性を高めることで、人の往来を生み出し、ひと・まち・自然が一体となった持続可能なまちの実現について提案し、今後はその取組を推進していくこととなります。</p> <p>【SDGs未来都市の概要】 SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現する可能性が高い都市・地域として選定するものです。国においては、SDGs未来都市の取組の円滑な実施に向けて、各省庁における横断的な支援を行うとともに、持続可能なまちづくりに寄与する優良事例として、国内外に発信することとなっています。</p> <p>（ <input type="checkbox"/>初めて <input type="checkbox"/>恒例 <input checked="" type="checkbox"/>回目 ）</p>
目的・背景 その他	<p>SDGsに取り組むことで、新たな価値や連携を生み出すことにより、人口減少や地域経済の縮小といった地域の課題を解決し、持続可能なまちづくりを進めることができると考えられています。「未来都市」としての選定を受けることで、都市としてのイメージアップやシビックプライドの醸成といった「地域ブランド価値」の創出、SDGsを軸とした官民連携事例の増加などを期待しています。</p>
市ホームページ	掲載済み ・ 掲載予定（5月22日） ・ 掲載しない
広報かこがわ	●月号に掲載 ・ 9月号に掲載予定 ・ 掲載しない

# 2023年度SDGs未来都市全体計画提案概要(提案様式2)

提案全体のタイトル:「水辺×駅周辺」が人をつなぐ 職・住・憩まるごと創造プロジェクト

提案者名:兵庫県加古川市

全体計画の概要:若い世代の転出超過を改善するため、JR加古川駅周辺から加古川河川敷までのエリアを活用し、子育て世代が集まり、自然を身近に感じながら、自分らしく過ごすことができる都市空間を形成する。さらに、エリアの回遊性を高めることで、人の往来を生み出し、ひと・まち・自然が一体となった、持続可能なまちを実現する。

1. 将来ビジョン	<b>地域の実態</b>	<b>2030年のあるべき姿</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「加古川」を中心に、自然と都市が調和した大都市近郊のベッドタウン。</li> <li>0～4歳及び20～44歳が転出超過の約90%を占める。</li> <li>定住人口増には「駅前のにぎわい」と「余暇を楽しむ場所」の創出が課題。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>自然と都市の調和が生み出す Liveable Well-Being City 加古川</b></p> <p>【経済】誰もが活躍し、賑わいを感じられるまち                  【社会】安全・安心に暮らすことができるまち                  【環境】カーボンニュートラルの達成をはじめとした環境と共生できるまち</p>	
	<b>2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット</b>	【経済】中心市街地のウォークブル空間の形成、理想の働き方が実現する社会の構築 【社会】地域ぐるみの子育て応援、デジタル技術を活用した防犯・交通安全対策、防災基盤の整備 【環境】脱炭素型ライフスタイルへの転換促進、ごみの資源化の推進、生物多様性の保全	
2. 自治体SDGsの推進に資する取組	<b>自治体SDGsに資する取組</b>	<b>情報発信</b>	<b>普及展開性</b>
	【経済】市のポテンシャルを引き出し、人や企業が輝き、躍動するまちづくり 【社会】子どもや高齢者をはじめ、全ての人が安全安心に暮らせるまちづくり 【環境】環境と共生できるまちに向けた地域総がかりで取り組むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンミーティングや広報紙、SNS等を活用した、戦略的な情報発信</li> <li>市SDGsオリジナルロゴマークを通じ、事業者の主体的な活動の後押しや、ロゴを見た人に対するSDGsを意識した行動の意識付け</li> <li>シティプロモーションサポート企業との連携</li> <li>公共施設等でのSDGs関連取組の掲示・周知</li> <li>SDGsプラットフォームの活用</li> </ul>	「心の豊かさ」や「QOLの向上」へと繋がる未来都市の姿やWell-Beingの向上を目指す本市の取組は全国の自治体が参考にしやすく、具体的な取組はLiveable Well-Being City 指標を踏まえたもので、先駆的な事例として参考になる。 さらに、駅周辺の中心市街地と河川敷が近接する地域特性を活用したまちづくりは、地域特性が類似する自治体においては特に参考になる。
3. 推進体制	<b>各種計画への反映</b>	<b>行政体内部の執行体制</b>	<b>ステークホルダーとの連携</b>
	1. 加古川市総合計画 2. 第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 3. 第3次加古川市環境基本計画 4. 加古川市多文化共生社会推進指針 5. 第5次加古川市男女共同参画行動計画 6. その他の分野別計画	「加古川市まち・ひと・しごと創生本部会議」 (構成) 本部長: 加古川市長、構成員: 全部局長 (内容) 全庁的なSDGsの推進に向けた意思決定や、進捗状況についての評価を行う (その他) 外部有識者で構成する「加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議」と連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、地域コミュニティ団体、市民活動団体、市SDGsオリジナルロゴマークを活用する事業者など様々な主体と行政が強みと弱みを捉えつつ役割分担し、連携して課題に取り組む。</li> <li>広域連携都市やSDGsプラットフォームのネットワークを活用し、他自治体との連携を図る。</li> </ul>
	<b>自律的好循環の形成に向けた制度の構築等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三井住友海上火災保険株式会社(SDGsの連携に関する協定締結事業者)との連携による、市SDGsオリジナルロゴマークの活用届出制度を昇華するかたちでの<b>地方創生SDGs登録制度を構築</b></li> <li>エビデンスを基とした事業評価、効果検証を実施し、課題の把握と分析に注力しながら、事業を推進</li> </ul>	

# SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

別紙 1

概要

- 中長期を見通した**持続可能なまちづくり**に向けて、地方創生に資する、地方公共団体によるSDGsの取組みをさらに推進していくためには、**モデルとなる先進事例の創出**と、**普及展開**が必要。
- 我が国の「SDGsモデル」の構築に向け、地方公共団体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として選定。また、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選定し、補助金による支援を行う。⇒2022年度までの5カ年で「SDGs未来都市」154都市、「自治体SDGsモデル事業」50事業を選定。
- 地方公共団体の取組を支援するとともに、**成功事例の普及展開**を行い、全国の地方創生の深化につなげる。

## SDGs未来都市

### 選定趣旨

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境の三側面の統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域**を選定

2021年度からは、**脱炭素化に関する取組**を選定時の加点要素として追加

地方創生推進交付金の、申請事業数上限の枠外として、1事業追加可能

### 自治体SDGsモデル事業（10件）

SDGs未来都市に選定された都市のうち、**多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環の形成が見込める、特に先導的な事業**

2023年度

補助

補助金 総額 **2.5億円** 上限2,500万円/都市 × 10件

補助区分	対象経費	補助金額・補助率
全体マネジメント・普及啓発等経費	計画策定、事業実施体制の構築、普及啓発活動 など	1,500万円 【定額】
事業実施経費	外注費（工事請負、システム開発等）、委託料 など	1,000万円 【補助率1/2】

成功事例の普及展開

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援（計画策定・事業実施等）

自治体SDGs推進評価・調査検討会による継続的な助言、支援

持続可能なまちづくり

## 令和5年度SDGs未来都市 選定都市一覧

No.	提案者名	提案全体のタイトル
1	青森県弘前市	SDGsで切り拓く持続可能な「日本一のりんご産地」の実現
2	群馬県桐生市	ゆっくりズムのまち桐生
3	埼玉県鴻巣市	「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里こうのす」の実現
4	埼玉県深谷市	渋沢栄一「論語と算盤」の教えを踏まえた深谷版SDGsの実践
5	千葉県木更津市	ORGANICITYPROJECT～木更津SDGs推進モデル～
6	東京都大田区	羽田から未来へはばたくおたSDGs未来都市の実現 ～新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市～
7	東京都東村山市	ワンランク上のベッドタウン東村山 ～SDGsビジョン「笑顔つながる東村山」を目指して～
8	富山県氷見市	美しい海と山がつなぐ“食都氷見” ～人自然食文化で輝く交流のまち～
9	石川県七尾市	里山里海未来都市七尾 ～心豊かな人々が幸せに暮らし続けるまち～
10	石川県野々市市	小中高大連携による持続可能なインパクトシティのいち創生事業
11	福井県大野市	産業・人・自然が生き生きと好循環する結のまち
12	山梨県	誰もが豊かさを実感できる「豊かさ共創社会やまなし」の実現
13	長野県松本市	三ガク都まつもとSDGs未来都市 ～自分らしく生きるジェンダー平等のまち～
14	京都府宮津市	日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ ～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～
15	兵庫県	公民連携により未来へつなぐ持続可能な兵庫
16	兵庫県加古川市	「水辺×駅周辺」が人をつなぐ職・住・憩まるごと創造プロジェクト
17	兵庫県三木市	100年後も誇りを持って暮らせるまち三木
18	兵庫県三田市	「ひと」×「まち」×「さと」が織りなすSDGs未来都市三田
19	鳥取県八頭町	八頭町SDGs未来都市計画 ～人が輝き未来が輝くまち八頭町～
20	島根県松江市	「国際文化観光都市松江」の豊かさ創出 ～地域と世代をツナグ「水の都」と「城下町」の持続可能な発展を目指して～
21	岡山県備前市	びぜんウェルビーイング構想～夢と希望にあふれ活力に満ちたまちの創生～
22	広島県福山市	多様な主体が参画し、新たな価値を創造する 「福山版サーキュラーエコノミー」の実現
23	愛媛県四国中央市	若者に選ばれるサステナブルな紙のまち創造事業
24	福岡県糸島市	地域力を生かした“糸島スタイル”の持続可能なまちづくり
25	佐賀県鹿島市	健康な有明海・流域に立脚する、くらしやすく持続可能な鹿島市
26	宮崎県延岡市	「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」を目指して
27	鹿児島県出水市	～世界に誇れる豊かな自然、未来へ紡ぐいにしへのまち～の継承
28	鹿児島県奄美市	世界自然遺産と歴史が織りなす環境文化経済循環都市の実現

※都道府県・市区町村コード順